

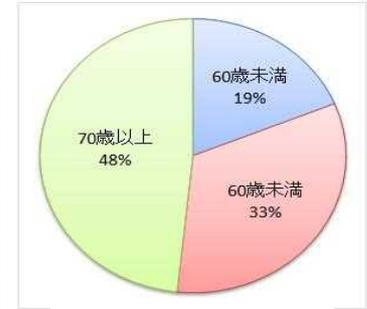
様式2 基本計画シート

課題NO	重点2	課題名	ユズの生産振興	
対象	J A高知県安芸地区柚子部、J A馬路村ゆず部会		実施期間	令和2年度～令和5年度

対象の概要と問題点及びあるべき姿

1 対象の概要・問題点

農協	項目	H29年	H30年	R1年	R2年
JA高知県安芸地区	面積 (ha)	281	281	281	284
	戸数 (部員数)	929	926	920	915
	出荷量 (t)	4,485	5,278	5,262	5,529
JA馬路村	面積 (ha)	49	49	49	49
	戸数 (部員数)	188	190	190	190
	出荷量 (t)	638	760	715	800



注1)R2年度末時点

注2)出荷量は青果用+搾汁用

(問題点)

- ・搾汁用は果汁や果皮の需要に対して供給量が不足している。また、青果は出荷が冬至に集中しており、単価が安定していない。
- ・生産者の高齢化や担い手不足による管理の不十分な園地や、ユズの高樹齢化による生産力の低下した園地が増加している。
- ・ほ場が飛び地や急傾斜地にあり、担い手への園地の流動化の妨げとなっている。
- ・獣害(シカ)により、生産力の低下した園が多く存在している。

2 目標年次の姿(目指すべき姿)

- ・生産拡大と品質向上により、目標生産量(5,500t)が確保される(J A高知県安芸地区)。
- ・スマート農業機械等の導入により作業の省力化が進む(J A高知県安芸地区)。
- ・ニーズに応じた輸出量・品質が確保され、継続的な青果輸出が実施される(J A高知県安芸地区)。
- ・優良系統の探索及び優良母樹による計画的な新植、改植が行われる(J A高知県安芸地区)。
- ・園地集積等により、産地が維持・活性化される(J A高知県安芸地区、J A馬路村)。
- ・若手生産者の栽培技術が向上し、ユズ専作農家が育成される(J A高知県安芸地区)。
- ・ユズに対する獣害の実態が明らかになり、適切な対応策がなされる(J A高知県安芸地区)。

普及事項	取り組み期間と到達目標					
	評価項目	実施前	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
1 生産拡大と品質向上						
(1)栽培技術の向上による生産拡大	受入数量 (4カ年の平均値)	5,079 t <small>※H28実績は除外</small>	5,100t 5,139t	5,300t	5,400t	5,500t
(2)優良系統による産地の若返り	新植・改植 面積	30ha <small>※R2.2月時点</small>	33ha 39ha(予定)	37ha45ha	41ha48ha	45ha51ha
2 ユズ産地を維持するための 仕組みづくり						
(1)園地集積等の取組支援 (J A高知県安芸地区)	園地台帳整備 地区数	4地区 (14%)	20地区(70%) 13地区予定(46%)	28地区予定(100%) 東川地区流動化 モデルの検討	流動化モデル の検討	流動化モデル の完成
(2)生産力維持に向けた仕組み づくり(J A馬路村)	園地台帳整備 地区数	2地区 (25%)	8地区(100%) 100%	方向性の決定	仕組みの検討	仕組みの確立
(3)産地を守るためのユズに対 する鳥獣害対策の検討 (J A高知県安芸地区)	獣害被害の 実態把握	未調査	調査済 調査済および 対応策の検討	対応策の検討 対応策の実施	対応策の実施 対応策の改善	対応策の改善
3 担い手の育成支援						
(1)新規就農者の早期定着に向 けた支援	目標収量の 達成者数	1戸/2戸	3戸/3戸 2戸/3戸	3戸/3戸	3戸/3戸	1戸/1戸